

# フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<https://www.chubuh.johas.go.jp/>

## 大腿骨頸部骨折について

～股関節の骨折は早く手術をして、次の骨折を予防しましょう～

整形外科部長 木下 晋

お年寄りが転んだり尻餅をついたりして、脚の付け根（股関節）が痛くなり歩けなくなる場合は、ほとんどが大腿骨近位部骨折です。原因は、骨粗鬆症という病気であり、骨量と骨質の低下により骨折するリスクが高くなります。

骨折で寝たきりになると、生活機能が下がり、その後の余命にも関係するため、早期に手術を行い機能を保つことが重要で、欧米では骨折後24～36時間以内に手術することが推奨されています。日本でも昨年から診療報酬改定により、早期手術を国が進めています。当院では院内で早期手術が必要という認識で取り組み、昨年手術待機日数は骨接合術で平均1.55日、人工物置換術で平均4.42日でした。

また、一度この骨折を起こすと、次の骨折を起こしやすいことが知られています。そこで、当院では、多職種で連携して次の

骨折予防に取り組むチームを作りました。学会などの指針に基づき、骨粗鬆症の評価と治療を行っています。例えば看護師による骨粗鬆症の説明、お薬開始前の口腔外科での口腔内の評価や治療、薬剤師による腎機能によるお薬選択や指導などです。実際当院で、昨年度に新たに骨粗鬆症の治療を開始した患者さんの割合は83.6%でした。また理学・作業療法士による運動・歩行機能評価や認知機能評価に基づく転倒リスク評価など転倒予防の実践を行います。転院先やかかりつけ医などで治療を継続的に行うことが重要で、今後も地域と連携してまいります。

中部ろうさい病院整形外科では、今後も高齢化で増加が予想される大腿骨近位部骨折に対し、積極的に患者さんを受け入れ、早期の治療と次の骨折予防を進めていきたいと考えています。

### 今月号のお知らせ

①大腿骨頸部骨折について  
～股関節の骨折は早く手術をして、  
次の骨折を予防しましょう～

…………… 整形外科部長 木下 晋

②～③紙面健康セミナー

ロボット手術の時代が到来しました！

…………… 院長補佐（外科部長） 水谷 哲之

④縁の下の力持ち～栄養管理部の取り組み～

…………… 管理栄養士 森山 大介

病院の理念・当院の基本方針、編集後記

紙面健康セミナー

# ロボット手術の 時代が到来しました！

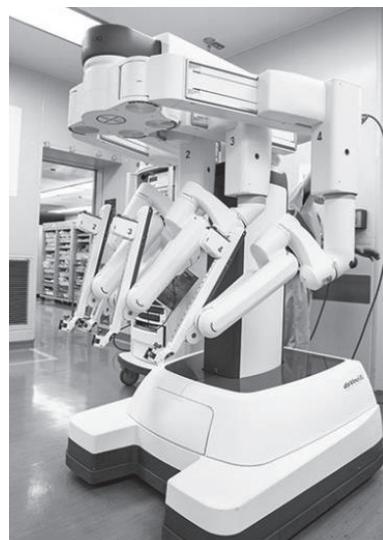
院長補佐（外科部長） 水谷 哲之



ロボット手術とは、従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術にロボットの機能を組み合わせて行う手術のことです。ロボットとはいえ、お掃除ロボットのようにロボットが自動で動くわけではなく、術者がロボットを操作して手術を行います。ロボット手術では今までの手術に比べ、より繊細で精密な手術を行うことが可能になります。

当院では2023年7月から手術支援ロボット“ダビンチ”を導入し、このロボット手術を開始しております。

ロボット手術では、患者さんの体に1cm程度の穴を4～6個開け、ペイシエントカートと呼ばれる器械（図①）を



図① ペイシエントカート

## 紙面健康セミナー

接続します。ペイシェントカートには4本のアームがあり、それぞれに鉗子（図②）を接続します。この鉗子でお腹の中の組織を持ちたり切ったりするのですが、鉗子の先端が人間の手の様に自由自在に動くようになっているため、非常に繊細な操作が可能になります（従来の腹腔鏡手術では鉗子は直線的にしか動かせず、この点が大きく異なります）。

術者はサージョンコンソールと呼ばれる器械（図③）で操作をしますが、こちらにも非常に画質のきれいな画像が3Dで見えるようになっており、手術の質の向上に役立ちます。

現在当院では、外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科でロボット手術を行っております。来年度には耳鼻科でも導入していく予定となっております。

当院で手術を受ける際にはぜひ担当医に「ロボット手術はできますか？」と尋ねてみてください。



図② 鉗子



図③ サージョンコンソール



私達が手術します！



# 縁の下の力持ち ～栄養管理部の取り組み～

管理栄養士 森山 大介

清秋の候、皆さまにおかれましては当院のご利用誠にありがとうございます。

当部は、栄養を介して治療に貢献する～患者さんを大切に～を基本理念として、1日でも早く自宅に退院して頂けるよう入院患者さんの栄養管理に力を入れています。

突然ですが皆さん、8月4日は何の日かご存知でしょうか。8月4日は、8(エイト)と4(よん)で、「えいよう」の日とされています。この「えいよう」の日は、栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の職能認知・普及を目的としています。当院においても、8月4日に栄養に関するイベントを外来で実施し、「間食の、すすめ」をメインテー

マにポスター掲示や筋肉量の測定、管理栄養士の仕事紹介、病院食の掲示、栄養の本と牛乳を400部配布しました。来年度も実施を予定しておりますので、ご興味がある方は是非ご参加ください。

他にも、安心・安全な美味しい食事の提供ができるように日々努めております。当院では、普通食以外にも嚥む・飲み込む力が落ちた方への食事にも力を注いでいます。嚥む・飲み込む力が落ちた方でも安心・安全な美味しい食事を食べていただけるように専用の食事を5段階用意しています。今後も栄養を介して治療に貢献できるように日々の業務を努めて参ります。



栄養の日の様子



嚥む・飲み込み力が落ちた方の食事

## 編集後記

今回の記事に掲載がりましたが、当院においてもロボット手術を導入いたしました。通常の手術よりも傷や出血が少なく、術後の回復も早いそうです。当院も進歩を続けてまいります。今後ともよろしくお願ひします。

## 当院の理念

納得、安心、そして未来へ

## 当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供